

第54回全国保育団体合同研究集会 集会宣言

2022年8月20日、21日の2日間、第54回全国保育団体合同研究集会を開催しました。集会テーマは「学ぼう、語ろう、つながろう 子どもの命と育ちと平和のために！」でした。第54回も第53回集会と同様に、高知県立県民文化ホール、高知商工会館での対面での参加と全国からのオンライン参加のハイブリッド形式での集会となりました。9月5日～25日まで録画配信も行いました。

第54回集会は、四国・高知での初めての開催となりました。高知の開催地実行委員会のメンバーは、「コロナ禍で大変な時だからこそ、高知のなかまと、全国のなかまとつながりたい」と開催を決意し、大変な中で開催の準備と運営にとりくみました。集会直前にコロナ第7波が猛威を振るう状況でしたが、オンラインも活用して準備にとりくみ、それぞれの状況に配慮しながら、当日の運営を行いました。

参加者は8315人（最終）でした。8月21日以降も録画配信の視聴が増えました。録画配信があることで、くりかえし視聴し、じっくり学べる機会となりました。高知県からの参加者は自主目標の500人を大きく超える559人でした。訪問に制約がある中でも、郵送と電話でのお知らせを行い、高知各地に集会の案内を広げたことがこの参加者につながりました。各地域でも、サテライト会場や各園で集まって視聴するなどの主体的なとりくみを行いました。その結果、高知をはじめ17都道府県が自主目標を達成しました。北海道からの参加者がこれまでで最高数になるなど、ハイブリッド形式ならではの参加者の広がりもありました。

分科会は8月6日～21日の期間のオンライン開催となりました。21都道府県5団体の力で、去年の倍以上の49分科会を開催することができました。分科会での提案数も109本となり、世話人、運営・進行、提案者が協力して分科会を運営し、全国各地で学び合うことができました。

基調報告、記念講演、全体会、分科会を通して、「全国のなかまと語り合い、つながることの大切さを感じられた」という感想がたくさん寄せられました。8月20日の全体会では、「コロナ禍で考える 今、保育・子育てで大切なことーすべての子どもが安心して育つために、大人が声をかけあい、つながろうー」と題して、保育・子育てフォーラムを行いました。コロナ禍で労働や保育制度・政策の問題が明らかになる中、保育者と保護者がいっしょに創ってきた保育実践が語られ、今大切にしたい保育・子育ての視点についてみんなで考え合いました。厳しい状況の中でも工夫した保育実践が各地で生まれています。こうした実践から学んだことを、各地・各園に広げていきましょう。

第55回集会は、各都道府県実行委員会が参加する全国実行委員会が、みんなで開催準備・運営を行います。これまで以上に全国各地の知恵と力の結集が必要です。保育・子育てについて語り合う大切な場である合研をますます充実したものにするために、各地でのとりくみを始めていきましょう。

2022年10月2日

第54回全国保育団体合同研究集会実行委員会